

研究実施の説明及びご協力をお願い

《小児集中治療におけるせん妄発症数の研究》

① 研究の対象

宮城県立こども病院 ICU に入院された方

② 研究期間

2021年8月～2022年3月

③ 研究目的

せん妄は手術や病気などの影響により、意識が変容する症候群の一つです。成人患者では、せん妄の発症により人工呼吸器装着期間の延長、ICU 滞在期間の延長など長期的な予後に影響を与えることが知られています。そのため、近年はアセスメントツールを用いたせん妄評価が積極的に行われています。しかし、小児のせん妄に関する研究や調査は日本国内では少なく、海外の文献を参照することが多いうえ、いまだ知られていないことがたくさんあるのが現状です。そのため、日本語訳がなされた小児せん妄アセスメントツールである CAPD を用い、小児集中治療室に入院する小児患者のせん妄の発症数の現状を調べていきます。

④ 研究方法

対象となる方の重症部門システム(Acsys)に記載された CAPD スコアを抽出し、発症数の現状を調査します。さらにせん妄を引き起こす原因を検討していきます。

⑤ 研究に用いる試料・情報の種類

気管挿管・人工呼吸器管理の有無、鎮痛・鎮静薬の使用の有無、血液ガスや検査データ、患者背景(性別・年齢・基礎疾患・体重・身長・PCPC・PIM3・SOFA などの重症患者に使用される各種スコア)

⑥ 外部への試料・情報の提供

病院外に個人を特定する情報を提供することはありません。

⑦ 研究組織

宮城県立こども病院 看護部 ICU 病棟看護師長 井上 達嘉
宮城県立こども病院 看護部 ICU 病棟主任看護師 大村 佳祐

宮城県立こども病院 看護部 ICU 病棟看護師 阿部 慶佑

宮城県立こども病院 看護部 ICU 病棟看護師 高松 謙尚

⑧ お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについてお子さまの保護者の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出下さい。その場合でも不利益が生じることはありません。

連絡先

研究代表者:高松 謙尚(看護師)

研究責任者:井上 達嘉(看護師長)

所属機関:宮城県立こども病院 ICU 病棟

〒989-3126

宮城県仙台市青葉区落合4-3-17

電話番号:022-391-5111(代表)